

女川原発再稼働と放射能汚染問題のうごき

◆女川原発を再稼働のため、原子力規制委員会に安全審査を申請、審査が進行中

震災時、女川原発は震度 6 弱の揺れと敷地の高さぎりぎり 13mの津波に襲われ、外部電源 4 系統を失い、かろうじて生き残った 1 系統で奇跡的にメルトダウンを免れました。想定した最大地震、基準地震動を超え、原子炉建屋やクレーンなどが破損しました。全 3 基のうち、2 号機は震災時定期検査中で被害が少なかったとして、昨年の 12 月 27 日、東北電力は再稼働に向けて原子力規制委員会に安全審査を申請し、現在、適合性審査が進んでいます。

◆女川原発（2号機）再稼働のため、宮城県「安全性に関する検討会」開催（11月11日）

東北電力は、女川原発施設の変更には県・女川町・石巻市と事前協議する「協定」を結んでおり、昨年 12 月に国の原子力規制委員会に安全審査を申請した時、3 者に協議開催を申し入れていました。県は女川原発 2 号機の安全性を客観的に評価するため、石巻市・女川町と共同で検討会を設置し、原子力や耐震工学などを専門とする有識者による委員 10 人を選任しました。

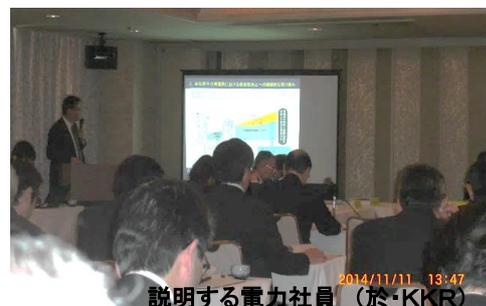
第一回検討会の冒頭、知事は「施設の健全性確認」と「新規制基準に適合することにより向上する安全性の確認」の 2 点について安全協定に回答するため、専門家の意見を伺うので、再稼働の是非を協議するのではない・・・」と話し、検討内容には住民の安全を守る手立てなどはありませんでした。

女川原発の大震災時の対応状況や新規制基準適合性審査申請、地震後の設備健全性などを東北電力がパワーポイントで説明し、委員から質問などありました。第 2 回は、12 月に開催されます。

石巻の亀山市長は 10 日に記者会見で、「再稼働にあたっては、立地自治体の同意だけでなく、周辺自治体の意見を聞いて判断すべきではないか」と、発言しています。

この「検討会」について、女川原発の再稼働を許さない！2014 みやぎアクション・東日本大震災復旧・復興支援みやぎ 県民センター・生活協同組合あいコープみやぎなど 5 団体と私ども女性ネットみやぎの 6 団体は、8 月 1 日県知事に共同で、意見・要望を伝えました。10 月 27 日には「女川原発安全性検討会」設置に関わる公開質問状を提出、委員として名前を挙げて専門家を推薦し、検討すべき事項についてなどを提起し、11 月 7 日にはその回答を受けました。しかし、この回答には、「検討会」が東北電力との「事前協議」に回答するための専門家による参考意見を聞くためであり、提案した委員を採用しないわけも、住民を守るとりくみについての検討などありませんでした。

共同提出団体は、「検討会」の協議内容や委員の補充などについて、県民の要望や疑問をまとめて再質問し、女川原発再稼働はできない、すべきではない、と引き続き求めていきます。



◆放射性指定廃棄物の最終処分場問題……町民こぞって反対し、年内調査を阻止した。



福島第一原発事故による放射能汚染の指定廃棄物最終処分場建設問題では、県内の栗原市・大和町・加美町の 3 カ所が候補地に挙げられ、加美町では、町長を先頭にした町民挙げての反対運動が繰り広げられています。

加美町の候補地田代岳への入り口では、ボーリング調査にきた環境省職員に、候補地は岩質がもろく危険、水源地であり下流への影響が甚大、などの反対理由を列挙した抗議文を手渡し、多数の町民が座り込みや抗議行動などに参加し、調査立ち入りを阻止しています。地元住民は、「みんながどれだけ風評被害を心配しているか、環境省は分かっている。体を張ってでも反対していく。」と話しています。「3 市町同時実施」を条件としているため、まだどこも調査できていません。今後は、加美町だけでなく、3 市町が連帯してともに行動するとりくみも検討されています。



住民の激しい反対運動が広がるなか、11 月 18 日、環境大臣が「こしは雪が早めに積もっており、年内の調査は物理的に難しい。来年の雪解けを待って速やかに開始する予定」と述べ、調査開始は来年春以降、との見通しを示しました。

11月8日

2014 みやぎアクション秋のつどい

「原発のない未来を子どもたちへ」をテーマにしたみやぎアクション秋のつどいには、230名の参加が会場を埋め、井戸謙一弁護士の講演に引きこまれて熱心に聞き入りました。お話は、今後の活動に大きな確信を与えました。

午後からのつどいの前には、ドキュメンタリー映画「飯館村—放射能と帰村」の上映があり、飯館の状況や住民のようすを知ろう、と朝からの参加者もたくさんおいででした。

講演に続いて、福島と女川からの報告、放射能汚染廃棄物最終処分場の調査強行に反対して闘っている3市町の状況も報告され、連帯を強めることができました。



* 講師：井戸謙一さん

2006年3月、石川県の北陸電力志賀原発運転差し止め判決を下した裁判長。2011年退官後、弁護士として「子ども脱被ばく裁判(福島)」「若狭の原発の再稼働禁止請求訴訟(大津)」「自主避難者の損害賠償請求事件(京都)」など原発関連訴訟を担当中。



講演(レジメより)の概略

*この1年2か月間、全国で原発は1Wも発電しなかった。電力供給に原発は全く必要ないことが証明されたが、それでも原発を動かしたい人たちがいる。輸出したい人たちがいる。何のため？

- *被ばく線量 ・一般公衆の被ばく限度 1 mSv/年
- ・原発労働者は 50 mSv/年(5年で 100 mSvまで)
- ・放射線管理区域 年 5.2 mSv

▼国営ひたち海浜公園(茨城県)0.23 mSv/時を超える所(年 1 mSvになる)があり 2014年5月立ち入り禁止に。

- *放射線管理区域：土壤汚染がセシウム 137 が 4万ベクレル/m²以上の地域を指定(チェルノブイリは 3万ベクレル)

福島は浜通り・中通・宮城県福島隣接丸森・角田・白石など規制：人がみだりに立ち入らないような措置を講じる、など

- *健康被害は始まっている？南相馬市立病院 (H23.5.8) 脳卒中発症 65歳以上で 1.4倍、35-64歳で 3.4倍

- *福島の方策：・データを取らない・情報を与えない・安全だと刷り込む
- ・健康被害はデマ、デマでなければ気のせい、と議論しない・住民を分断
- ・スピーディの隠匿・メルトダウンの事実隠匿・モニタリング数値のごまかし

- *どうするか→・不安なのは当たり前・信じられないのは当たり前
- ・被ばくを減らしたいのは当たり前・行政に腹が立つのは当たり前→同じ思いの親たちがつながって声を出そう。黙っていたら苦しんでいる者がいる存在すらなかったことになる→裁判を起こそう

- *ふくしま集団疎開裁判(2011.6.24 提訴、2013.4 高裁却下) 子ども脱被ばく裁判(第2次集団疎開裁判 2014.8.29 提訴) 子ども人権裁判→地元自治体に対し、安全な環境で教育を受ける権利があることを確認を求め

親子裁判→国と県に対し、行政の無策により子どもが無用な被ばくを強制されたことへの慰謝料請求、一人 10万円 ※へ続く

※この国には子どものいのちより大事なものがあるのか??

*「司法は生きていた」2014.5.21 福井地裁大飯原発訴訟判決

・人格権は、我が国の法制化においてはこれを超える価値を他に見いだすことはできない・原発の稼働は、憲法上は人格権の中核部分よりも劣位におかれるべきものである ・極めて多数の人の生存そのものにかかわる権利と電気代の高い低いの問題等を並べて論じるような議論に加わったり、その議論の当否を判断すること自体、法的に許されない ・多額の貿易赤字が出るとしても、これを国富の流出や喪失というべきではなく、豊かな国土とそこに国民が根を下ろして生活していることが国富であり、これを取り戻すことができなくなることが国富の喪失である。……

*世論が変化している

NHK H26.3 脱・減原発 74%現状維持 23%
 朝日新聞 H26.3 脱原発 77%反対 14%
 時事通信社 H26.5 脱原発 84.3%活用続ける 12.7%

→今この国を変えることができなければ、筆舌に尽くし難い苦しみの中にあるフクシマ人たちに申し訳が立たない。

井戸弁護士は最後に、「今原発は動いていないが、電気は足りている。大企業や政治家の思惑があっても、裁判官がのりこえられるほど、国民の支持が広がっている。女川原発・東通原発の訴訟はまだないが、女川原発でも準備されているということなので、頑張ってもらいたい。」と、地元の私たちに励まされました。

◆11月13日(木) 北風の中、「女性ネットみやぎ」街頭宣伝署名行動



この日、女性ネットが掲げるいつもの横断幕が風で飛ばされるほど、冷たい木枯らしが吹いていましたが、参加者は 15名で、いつもより少し短い時間になりましたが、92筆の「女川原発再稼働 STOP 署名」が寄せられました。若い方も参加され、寒さを吹き飛ばしていました。

仙台の住所だけど、話していると福島からの転居者だとわかったり、「孫のために署名したい」と戻ってきて署名したり、毎回署名だけでなく、心も集めている、と思いました。(t)

「女性ネットみやぎ」の街頭宣伝署名行動は、12月4日(木)12~13時

いつも通り、一番町フォーラス前です。寒くなりましたので、防寒対策をしておいでください。
急に、国会解散・総選挙（12月2日～14日）となりましたが、**原発ゼロ**と、安心して子育てできる**平和な社会**をめざす議員が選ばれるように、主権者としての声を上げましょう。



原発・放射能・子ども・平和関連の行事など、各地・各団体のとりくみ

◆脱原発デモ・アピール行進

- * 塩釜地域：塩釜きんぎょデモ・毎週金曜 17時半集合・下馬駅裏宮城民医連事業協前 17時45分デモ出発
- * 旧古川地域：大崎 demo 金曜デモ・毎週金曜 17時半集合・あさひ中央公園
- * 仙台長町地域：第3水曜日 脱原発ながまちアクション：仙台・長町・蛸薬師境内集合後デモ行進 17時半
- * 仙台中央部での「脱原発みやぎ金曜デモ」
 - 11月21日(金)元鍛冶丁公園 18時集合 18時30分デモ出発
 - 11/30(日) 良覚院丁公園（片平消防署向かいの公園）14:00 集合 14:30 デモ出発
 - 12/5(金) 元鍛冶丁公園 18:00 集合 18:30 デモ出発
 - 12/12(金) 元鍛冶丁公園 18:00 集合 18:30 デモ出発
 - 12/21(日) 元鍛冶丁公園 14:00 集合 14:30 デモ出発

注意

仙台金曜デモの集合場所にご注意ください。

- ◆11月22・23・24日 2014 日本のおたごえ祭典 in みやぎ（一般23日13時半～於・ゼビオアリーナ仙台）
- ◆11月23日(日)ドキュメンタリー映画上映「疎開した40万冊の図書」13時10～、18時半～ 無料
於・エルパーク仙台ギャラリーホール
- ◆11月27日(木)10時半～12時「エネシカフエ vol.7」主催・エネシカみやぎ 申し込み FAX 022-725-2262
於・ゼロ市場(泉区上谷刈-1-6)
- ◆12月2日衆議院選挙公示 12月14日投開票 → 原発ゼロ・被災者支援策を前に進める議員を国会に送りましょう！
- ◆12月4日(木)12時～13時 女性ネットみやぎ街頭宣伝署名行動 於・一番町仙台フォーラス前
- ◆12月5日(金)11日(木)10時～16時半「2014年日本軍慰安婦問題を考えるパネル展」
於・エマオギャラリー（仙台市錦町）主催：日本軍「慰安婦」問題の早期解決をめざす宮城の会
- ◆12月6日(土)13時半～15時「シリアからの叫び、分裂するイラク」国際ジャーナリスト後藤健二さん
於・みやぎ生協文化会館ウイズ 事前申し込み：電話 022-218-5358 FAX 022-218-5945 (入場無料)
- ◆12月6日(土)14～16時 ドキュメンタリー映画「不毛の地」上映会 主催・核戦争を防止する宮城医師・歯科医師の会
於・宮城県保険医協会研修ルーム（仙台市青葉区本町 1-2-29）無料・要事前申し込み FAX 022-265-0576
- ◆12月6日(土)18時半～20時半 みやぎ脱原発・風の会公開学習会 vol.5 於・仙台市民活動サポートセンター研修室 5
「吉田調書が語る『福島原発事故の教訓』」石川徳春さん（仙台原子力問題研究グループ）
- ◆12月8日(月)11～13時 「12・8 平和を守る女性・母親たちの全国連鎖行動/みやぎ」 主催・宮城県母親大会連絡会
於・錦町公園：集会→ピースウォーク→中央通旧みずほ銀行前で、赤紙配布・署名・リレートーク
- ◆12月8日(月)18時15分～「12・8 ふたたび戦争を繰り返させない集い～講演と文化の夕べ」 主催・宮城・革新懇
講演・「秘密保護法と集団的自衛権と」野呂圭氏・ピアノ演奏稲垣達也氏など 資料代 500円
於・仙台市シルバーセンター第一研修室
- ◆12月10日(水)10時～12時 あいコープみやぎ大人の社会科講座 ・事前申し込み(11月28日まで)FAX 0120-849-324
「平和といのちの尊さを地域から発信しよう」佐々木功悦氏（前美里町長）参加費無料
於・日立システムズホール仙台エッグホール
- ◆1月17日(土)13時～ 於・フォレスト仙台（入場無料） 主催・仙台弁護士会 共催・日本弁護士連合会・東北弁護士会連合会
新春憲法をついで「集団的自衛権問題を斬る！」講師：樋口陽一（憲法学者）柳澤協二（元防衛省防衛研究所長）
- ◆1月18日(日)9時半～、13時半～ 於・仙台市戦災復興記念館 主催：「映画から明日を考える」みやぎの会
映画「ファルージャ イラク戦争日本人質事件…そして」伊藤めぐみ監督との感想交流会も 前売り券 1000円
- ◆2月11日(水)13時半～ 2・11 信教・思想・報道の自由を守る宮城県集会 主催・靖国神社国家管理反対宮城県連絡会議
講演「正義と平和が抱きあう時—いがみ合いの向こう側をめざして」浜矩子さん 於・仙台市民会館小ホール/入場無料

